

白河市議会議員のあり方を検討 する特別委員会報告書 (抜粋)

2月22日、白河市議会議員のあり方を検討する特別委員会の山口耕治委員長から高橋光雄議長に報告書が提出されました。紙面の都合上、報告書の一部抜粋でお知らせいたします。

白河市議会議員のあり方を検討する特別委員会は、平成27年12月18日設置以来、議長より「将来の議員のあり方について幅広く検討し、本市議会が市民にとって、より身近で信頼される存在となるよう」との要請を受け、本市議会における議会基本条例に基づき、「市民の信頼と負託に応える議会を目指して、あらゆる世代が立候補でき、安定した環境を整える」ための諸課題について検討することを目的に、委員12名の構成で、17回の委員会を開催し、各委員から出された諸課題に関して検討を重ねてまいりました。



山口耕治委員長から高橋議長へ
報告書が手渡されました。

この間、市民の皆さんを対象とした「市議会に対する市民意識調査」を実施したほか、白河、表郷、大信、東の各地域活性化協議会委員皆様との意見交換会などを開催し、意見・要望等を分析するために、協議を重ねてまいりました。

地方議会を取り巻く状況は、平成11年の地方分権一括法の施行以来、地方自治体の自主性・自律性が飛躍的に拡大され、また、議会の権限の及ぶ範囲も大幅に拡大され、議会の役割と責任を十分に果たすことや議会活動の透明性を高めることが、さらに求められております。

また、本市が東日本大震災及びそれに伴う原発事故災害からの復旧・復興を果し、発展していくうえで、二元代表制の一翼を担う議会としての責任を再認識し、市民皆様の声に耳を傾け、議論を尽くしてまいります。市民皆様の支持を最大限に得ながら市政に反映させる事が最重要課題と考えております。

以上の事から、今後の議会議員のあり方については、次のとおり提言いたします。

◎ 具体的に検討した事項とそれらに対する特別委員会の意見

「市議会に対する市民意識調査」や各地域活性化協議会委員を対象とした意識調査及び意見交換会から得られた次の要望や課題を検討項目とした。

これらの検討項目については、全会一致をみたものは特別委員会の提言とした。また、各委員の意見が一致をみない項目は、それぞれの意見を付して報告することとした。

○総論 (まとめとして)

